本ばこ　—新刊教材・図書紹介—

「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。誌面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っていると便利な図書・資料」などを取り上げます。

※データ凡例　1著者　2出版社　3刊行年月　4ISBN　5判型・ページ数　6定価　7その他

初級文法の整理に役立つ
短期集中初級日本語文法総まとめポイント20

●データ●

1友松悦子、和栗雅子　2スリーエーネットワーク（〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-6-3（松栄ビル））TEL.03-3292-5751 FAX.03-3292-6195 URL.www.3anet.co.jp　32004年11月19日　44-88319-328-4　5B5判129ページ　61,470円　7別冊解答付き

▽文法の基礎を確認するために

『広辞苑』によると基礎とは「その上に建物を建てたり大きな装置を設置したりするために据える土台」のことです。立派な建物を建てるには確かな土台がなければなりません。日本語も上手になりたければ、確かな日本語文法の基礎を身に付けなければなりません。

しかし、日本語の習い始めは毎日新しい語彙や文法が波のように次から次へと押し寄せてくるので、覚えるのに精一杯です。習った文法をきちんと分類したり、整理したりする余裕がなく、あやふやな状態に陥りやすいのではないでしょうか。

「初級日本語の学習は終わったが、文法にはぜんぜん自信がない」などの声がよく聞かれますが、このような学習者には本教材が役立つでしょう。

本教材は初級で習った文法項目を短時間で整理し、関連付けて復習できるように工夫されています。初級文法に出てくる「は」と「が」、「自動詞と他動詞の対」、「可能表現」、「使役」、「条件」、「受身・使役受身」など20項目を20課に分けて提示しています。各課は学習者が自分でも初級文法の習得状況を確認・補強できるように「スタートテスト」→「ポイント」→「練習問題」という流れで作られています。また、教師は中級クラスで初級文法の復習用に使えます。

▽文法の基礎を固めるために

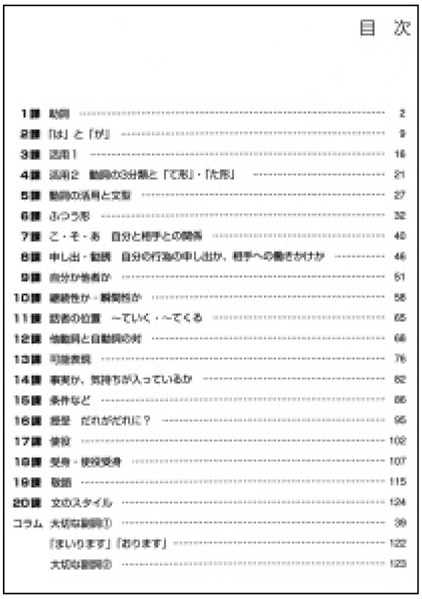
「スタートテスト」部分は問題形式になっていて、学習者は「スタートテスト」の問題に答えることによって、自分はどの程度初級文法を理解できたか、どの程度正確に使えるようになったかを確認できます。自分の文法の弱点を確認できたら、「ポイント」部分に進み、それを補強できます。

「ポイント」部分は文法の意味、使い方を挿絵や図表を使って、要領よく説明しているので、文法の整理や再確認に適しています。「ポイント」の説明には英語、中国語、韓国語の訳もついています。

続く「練習問題」は「ポイント」に出ている文法項目を短文やまとまった文章（談話）の中でどのように使うのかを考えるものです。練習問題に答えながら「ポイント」を正確に身につけたかを再確認できます。

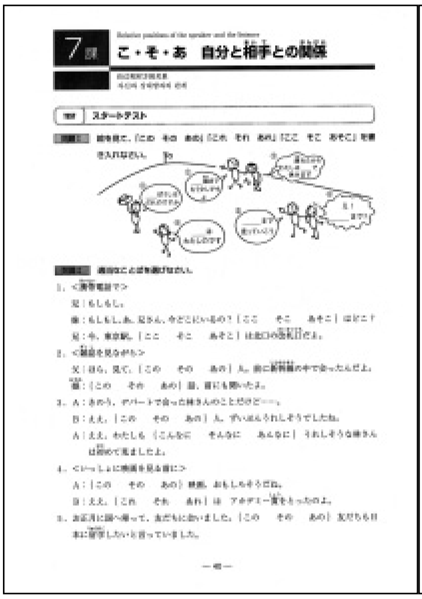
本教材は「コラム」というコーナーもあります。全部で「コラム」は3つありますが、初級日本語学習者にとって難しそうな副詞などの使い方を分類し、分かりやすくまとめてあります。

「スタートテスト」や「練習問題」についての解答冊子も付いています。

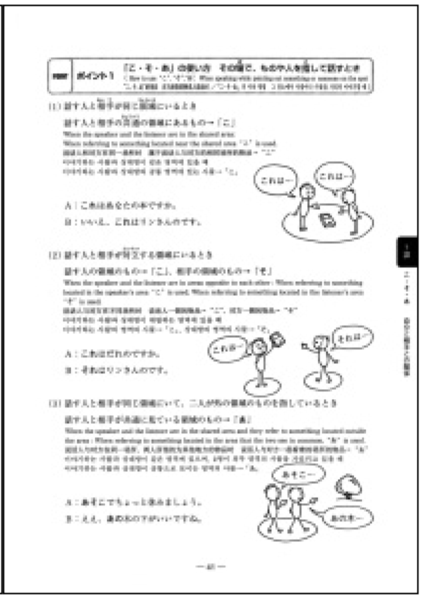

目　次

1課 助詞 …… 2
2課 「は」と「が」 …… 9
3課 活用1 …… 16
4課 活用2　動詞の3分類と「て形」・「た形」 …… 21
5課 動詞の活用と文型 …… 27
6課 ふつう形 …… 32
7課 こ・そ・あ　自分と相手との関係 …… 40
8課 申し出・勧誘　自分の行為の申し出か、相手への働きかけか …… 46
9課 自分か他者か …… 51
10課 継続性か・瞬間性か …… 58
11課 話者の位置　～ていく・～てくる …… 65
12課 他動詞と自動詞の対 …… 68
13課 可能表現 …… 76
14課 事実か、気持ちが入っているか …… 82
15課 条件など …… 88
16課 授受　だれがだれに？ …… 95
17課 使役 …… 102
18課 受身・使役受身 …… 107
19課 敬語 …… 115
20課 文のスタイル …… 124
コラム 大切な副詞① …… 39
「まいります」「おります」 …… 122
大切な副詞② …… 123

目次



P. 40



P. 41

中級へのスムーズな移行を助ける
『日本語の文型と表現59　中級へ行こう』

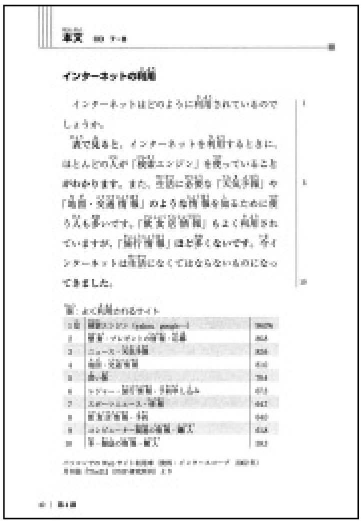
●データ●

1平井悦子、三輪さち子　**2**スリーエーネットワーク（P.11の「データ」参照）**3**2004年11月20日　**4**4-88319-327-6　**5**B5判139ページ　**6**2,310円　**7**別冊解答、CD（21分）1枚付き

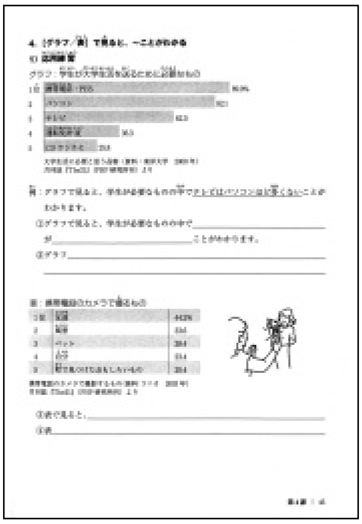
この教材は、300時間程度の初級のコースを終了した学習者が、無理なく初級後半から中級へ移行できるよう橋渡しをしてくれる教材です。『みんなの日本語』や『新日本語の基礎』を終了した学習者を想定して、能力試験3級、2級レベルから59項目の新文型が選択されています。全体は10課から成り、各課には、「ファーストフード」「最近の子ども」「インターネットの利用」「あいづち」など、身近なテーマが一つずつ設定されています。様々な練習を通して、学習者が新しい文型と表現を使い、テーマについてまとまった文章が書けるようになることを目標にしています。

各課の構成は以下の通りです。初めに「話しましょう」では、ウォームアップとしての問いがあり、本文のテーマについて自分の知識や経験などを思い起こさせます。続く「本文」では、日本人の暮らしに関する情報についても触れています。本文のあとには「新しいことば」「ことばの練習」「QA」があります。「新しい文型と表現」では、新出文型と表現が例文と共に提示されます。課によっては、関連項目の整理も含まれています。「新しい文型と表現の練習」には、項目ごとに、代入・変換などの「基本練習」と、文を完成する「応用練習」や「短作文」があり、次に、「作文」で質問に答えながら、自分の経験や考えを文章にまとめます。最後に、本文のCDを聞きながら、キーワードを聞き取ってタスクシートに書き込む聴解練習があります。CDの録音には2種類のスピードがあり、学習者のレベルによって選択できます。

以上の順番で勉強する以外に、必要な練習だけを抜き出して使ったり、本文のテーマに基づいて討論、アンケート調査などの発展練習をするなど、いろいろな使い方ができます。

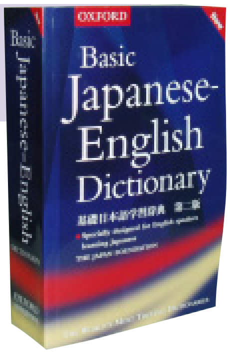


P. 40



P. 45

初級学習者の強い味方『基礎日本語学習辞典』改訂
『基礎日本語学習辞典（英語版）第二版』



●データ●

1国際交流基金　**2**凡人社（〒102-0093　東京都千代田区平河町1-3-13　菱進平河町ビル1F）　TEL.03-3263-3959　FAX.03-3263-3116　URL.www.bonjinsha.com　**3**2004年8月5日　**4**4-89358-554-1　**5**B6変型判 見出し語2,981語、998ページ　**6**3,780円

『基礎日本語学習辞典（英語版）第二版』は、初級日本語学習のための日英辞書です。1986年の初版以来、日本国内外で約13万人以上の方に使われてきました。また、この辞書をもとにして、13カ国語の翻訳版が22万部出版されています。

今回、初版発行から20年近くが経ち、改訂が行われました。主な日本語教材、辞書、語彙調査報告などを参考にして、見出し語70語が新しく加えられ、あまり使われなくなった見出し語は削られています。見出し語は合計2,981語で、今回の改訂で、日本語能力試験出題基準3・4級に取り上げられている語彙は全て見出し語として採用されました。

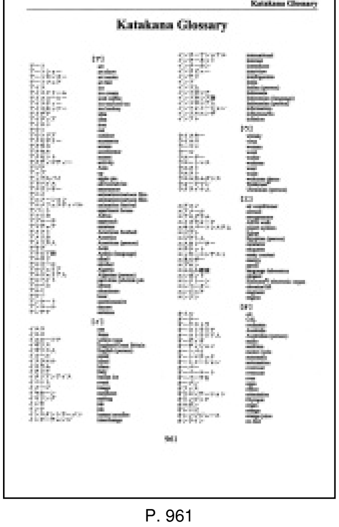
用例の中には時代に合わせて変更になったものもあります。たとえば、「あります」の用例として、以前は「田中さんは子どもが3人あります」だったのが、「私の部屋には本がたくさんあります」に変更になり、「孫」の用例として「山田さんは孫が3人あります」だったのが、「山田さんは孫が3人います」に変更になりました。また、アルバイトやパートなど時給形態で給料を支払うことを受けて、「給料」の用例として、「給料には月給、週給、日給の3種類があります」であったのが、「給料には、月給、週給、日給、時給の4種類があります」に変更になりました。

さらに、今回の大きな改訂の一つに見出し語の並べ方の変更があります。見出し語彙がアルファベット順（ローマ字インデックス）から、かな五十音順（かなインデックス）に変わりました。

巻末には、カタカナ語一覧が新たに載っています。

これから日本語の勉強を始める方、現在初級の日本語を学習している方に、役に立つ辞書だと思います。

P. 1



P. 961

ビジネス日本語のルールとビジネス場面での基本的マナーが学べる

『オフィスで使える！マナーも身につく！ビジネス日本語』テキスト①内定者編、テキスト②新入社員編

●データ●

1日本映像教育社　**2**発行:日本映像教育社（〒171-0014東京都豊島区池袋2-68-1 日建サテライト館8F）TEL.03-5950-2319　FAX.03-5950-2509　発売：**2**凡人社（P.12下の「データ」参照）**3**①、②とも2004年11月15日 **4** ①4-89358-578-9 ②4-89358-579-7 **5**①B5判195ページ ②B5判 229ページ **6**①、②共1,890円

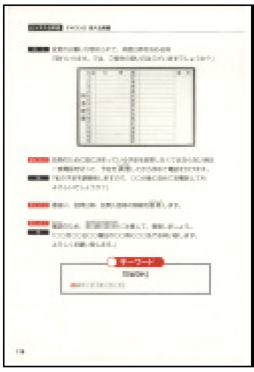
ビジネス場面では、日本語の使い方やマナーに特別な約束があり、敬語の使い方も独特です。この教科書は、そんなビジネス場面で使われる日本語とマナーの要点を分かりやすくまとめています。中級（日本語能力試験２級程度）以上の学習者で、ビジネスマンやこれから企業に入社する人を対象としています。『内定者編』でビジネス日本語の基本的ルールを勉強した後、『新入社員編』で具体的場面での会話を勉強できます。

『内定者編』は、「ビジネスマナーの基本」「敬語の基本と使い方」「様々なビジネス文書の書き方」、『新入社員編』は、「電話の受け方とかけ方」「訪問と応接の場面でのマナーと言葉の使い方」を丁寧に扱っています。写真と図が多く、とても見やすいので、ビジネス場面に接したことがない海外の学習者にも、たいへん分かりやすいと思います。どの課から学習を始めても良いように作られています。

「訪問のマナー」の課を見てみます。訪問の基本的な流れを図で確認したあと、訪問の準備（例：アポイントのとり方）、受付でのマナー、名刺の受け渡しと応接室でのマナーについて、まとめてあります。よく使われる文型の紹介（例：外出を連絡する文型「○○に行ってまいります。○○時に戻る予定です」）があり、応接室での挨拶の会話、座り方などを写真で確認することができます。課の最後には、マナーや漢字に関する練習問題がついています。

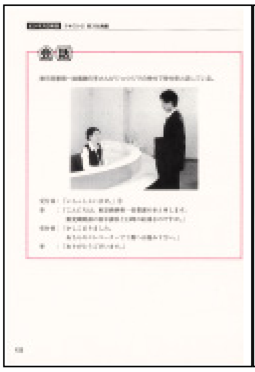
DVDによる映像教材の付属教材として作られた教科書ですが、この教科書だけでも勉強できます。教科書の最後には映像教材のスクリプトが載っています。映像教材については、http://www.etaro.net/で詳しい情報を得ることができます。

『①内定者編』「訪問のマナー」より



P. 118

P. 119



P. 122

P. 123

教室における第二言語習得を考えたい人のために

『日本語教師のための新しい言語習得概論』

●データ●

1小柳かおる　**2**スリーエーネットワーク（P.11の「データ」参照）**3**2004年10月５日　**4** 4-88319-326-8 **5**A5判280ページ **6**1,680円

この本は、多岐にわたる第二言語習得（Second Language Acquisition：以下SLA）の研究分野の中で、特に日本語教育に関わりが深い教室習得の分野を取り上げ、どのような指導をすれば教室が学習者にとって有意義な場になるのかを考えています。

この本は二部から構成されています。第一部は、第一言語習得（First Language Acquisition：以下FLA）に関する最近の研究成果を紹介し、FLAとSLAにどのような相違点や共通点があるかをわかりやすく説明しています。

第二部では、まず、SLA研究にはどのようなアプローチがあるのかをまとめています。「生得的アプローチ」「相互交流的アプローチ」「認知的アプローチ」、それぞれのアプローチにどのような特徴があるのかをわかりやすく解説しています。

次に、教室環境におけるSLAに焦点を当てて、「教室習得は、自然な習得順序を変えることはできないが、習得のスピードを速め、最終的に高い言語習熟度へと導いてくれる」ことを確認し、SLAを最も促進する指導のタイプとしてFocus on Formを取り上げ紹介しています。

さらに、学習者の年齢や性格や言語適性、認知スタイル、学習ストラテジー、動機付け、社会文化的要因などの違いがSLAにどのような影響を及ぼすのかについても丁寧な説明が加えられています。

日本語教師が自分自身の教室指導のあり方を見つめ直すときに、この本にまとめられているSLA、特に教室習得に関する知識は、有益な視点を与えてくれるでしょう。

巻末の引用文献リストと英日用語対照リストも非常に充実しており、言語習得研究に興味を持つ教師に有益な情報を提供しています。

目次

〈第１部　第一言語習得（FLA）の研究〉……001
第１章　初期のことばの発達 ……005
第２章　ことばの社会化 ……015
第３章　脳の発達とFLA ……024
第４章　FALの研究のアプローチ ……033

〈第２部　第二言語習得（FLA）の研究〉……049
Ⅰ　SLAの理論の変遷
第１章　SLA研究の始まり ……052
第２章　SLA研究のアプローチ ……060

Ⅱ　第二言語の発達過程
第３章　学習者言語の特徴 ……076
第４章　SLAにおける第一言語（L1）の影響 ……085

Ⅲ　教室におけるSLA
第５章　SLAから見た教室環境 ……095
第６章　教室指導のSLAへのインパクト 117
第７章　言語習得のメカニズム ……140

Ⅳ　SLAに影響を及ぼす環境と学習者要因
第８章　言語学習の開始年齢 ……157
第９章　学習者の認知的要因とSLA ……167
第10章　学習者の情意的要因とSLA ……179
第11章　社会文化的要因とSLA ……191

Ⅴ　SLA研究の意義
第12章　言語教育の基礎研究としてのSLA…200

引用文献 ……217
英日用語対照リスト ……254
索引 ……265

目次　　目次

P.11～13は国際交流基金の以下の日本語専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。
王　崇梁、向井園子、久保田美子、長坂水晶、木谷直文（執筆順）